

滋賀県立八日市南高等学校 地域支援活動部

高校生ボランティア・アワード2024

2012年度からの東北ボランティア活動で学んだことを地域に活かす活動

学んだこと

- ・命の大切さ
- ・人と人の繋がりの大切さ
- ・人と地域の繋がりの大切さ
- ・防災教育・防災啓発活動の大切さ
- ・高校生は地域を勇気づけ、地域の未来を創る存在になる

活動概要

2012年度から岩手県・宮城県での活動、2017年度からは福島県での活動をしてきました。その活動の中で被災された方々・NPOの方々・交流した高校生から学んだ上記のことを、地域社会に活かすために以下のような活動をしています。

(2023年度の活動)

- 1) 東北のボランティア活動(写真1)
夏休み等を利用して、岩手県・宮城県・福島県での研修活動をしています。また、その報告会を毎年2月に「命の大切さを学ぶ歌謡」として実施しています。今年度は石川県産野菜を用いたボランティア活動を予定しています。
- 2) 復興支援2畳缶の制作・飛越
東北の活動で交流した高校生に、本校のある東近江市の大浜(国選指定民俗文化財)を知ってもらうとともに、東北の高校生用の地域の方に向けていただく活動として毎年行っています。飛越の裏には、交流してきた東北の5校の生徒からの願いが込められています。今年度は石川県産野菜を用いた2畳缶の制作を予定しています。
- 3) 防災レンジャー(幼稚園児への防災啓発)活動
地震・火災・水災に対するの守り方について「防災レンジャー」という啓発活動も予定しています。今年からは小・中学生や一般の方に対する「しがみタイムライン」という啓発活動も予定しています。
- 4) ボランティア畑での野菜栽培
子ども食堂の方から「子供たちに新鮮な野菜を食べさせたい」という思いを聞き、私たちが春野菜・夏野菜と農薬を使わないようにして栽培し、子ども食堂や社会福祉協議会さんへ提供しています。
- 5) 子ども食堂での活動
野菜の支援の他に、現在能登川の子ども食堂、金屋の子供食堂で調理の補助や子どもの見守りの活動をしています。
- 6) 協働大賞(高校生プレゼンター、協働大賞入賞)
地味の方々との協働活動から高校生リーダーと協働大賞の入賞もしました。
- 7) 募金活動(ガガ人道支援募金、子供の貧困対策募金、能登半島地震募金(47分の1)、台湾地震募金)
毎月1回30分の生放送で活動を紹介しています。YouTubeにもUPされます。
- 8) 月刊がしおうみ出演(Yonan Ts 通信)
- 9) その他の活動
桜の植樹会・防災イベント・防災リーダー養成講座への参加
歌謡 CD 滋賀防災応援ラジオの防災川柳のコーナー
上道学園(滋賀の高等学校を活動した方々の施設)での野菜苗の定植
(新鮮な野菜を食べたためだけの活動 春野菜・冬野菜)
障がい者施設でのボランティア活動
東近江市のジャズフェスティバルでの献血の呼びかけ活動



東北での活動 (1)



復興支援2畳缶 (2)



防災レンジャー (3)

「人は他の人が喜ぶことをして幸せを感じる唯一の生き物です。」 『繋がり』

2012年度から2023年度まで(2020年度からはコロナで中止)東北でのボランティア活動をしてきました。その活動で、被災地へ実際に行き、現状を見て、被災された方々と交流させていただき、多くのことを学び考えさせられました。特に同じ世代の高校生たちが、自分たちの地域のことを思い、復興(地域の未来)に積極的に参加しようとしている姿に触れ感慨を受けました。

そして、彼らの想いが「命を大切に思う心」「人と地域の繋がりを大切に思う心」「人と人の繋がりを大切に思う心」から生まれてきたということに気づきました。そこで、私たち地域支援活動部も「命の大切さ」を学び「地域」・「人」との『繋がり』を大切に活動の重要性を感じ、その繋がりを地域に活かす活動に取り組んでいます。



2024年度復興支援2畳缶

判じもん「能登のゆたか(鷹)な海をとり(鳥)戻し(return)たい」この判じもんは、今年1月1日の能登半島での大地震によって失われた「能登の美しい海や海岸線を取り戻したい」という思いが込められています。(3月の石川県津幡高校とのzoom交流からデザインを考えました。)



子ども食堂での活動 (6)



募金活動活動 (7)



ボランティア畑で野菜栽培 (4)



子ども食堂での活動 (5)

滋賀県立八日市南高校地域支援活動部通信 YONAN TS 通信 radio/YouTube

毎月1回私たちの活動をFMがしおうみ Sweet Radioで生放送しています。YouTubeにもUPされています。是非ご覧ください!!



年次別 (2022年度) 活動概要	4月 10日	5月 10日	6月 10日	7月 10日	8月 10日	9月 10日	10月 10日	11月 10日	12月 10日
4月 10日	5月 10日	6月 10日	7月 10日	8月 10日	9月 10日	10月 10日	11月 10日	12月 10日	

毎月1回 30分のFM 生放送で活動を報告しています。
(Yonan Ts 通信 YouTubeにもUPされます。)
活動紹介の新聞記事

「SDGsは地域から」 今後の展望・夢など

2012年度の東北ボランティア活動で、被災された方々やNPOの方々から「この子達(高校生)がいるから復興はすすむ」という思いを聞きました。また、高校生からも「私たちはもう支援を受ける存在から、地域を支援する存在になりました」(2018年度の福島ボランティアで交流した相馬農業高校生の言葉)等の地域に対する強い思いを聞きました。

また、本校の活動も新聞やケーブルTV等で取り上げられるようになり、地域の方々から「八日市南高校の地域支援活動部の活動を知って、勇気や元気をもらった」という言葉を聞くようになりました。このように、高校生たちが地域の活動に参加したり、周りの方々のために活動することは、周りの方々に大きな影響を与える存在になることを知りました。

だからこそ、高校生がSDGsを意識し、地域・日本社会全体が抱える問題(SDGsも含む)に対して、大人と一緒に語り合い、現状を知る機会をつつていくことが重要であると捉えています。

現在、私たちが取り組んでいる活動にも、SDGsの目標の一つにある「子供の貧困問題(日本の子供の7人に1人が食べるものに困っている。しかし、この問題は見えにくい)」や、「防災啓発活動(東日本大震災から活発化している地震災害や温暖化による水害等)」による命の守り方を地域の子ども(幼稚園児)に伝えるもの等があります。

高校生が地域社会の一員として「地域と共に未来を創る人になる」ことの重要性を自覚し、発言・行動し、SDGsに取り組む輪を地域に作れば、それが日本社会全体に広がり、2030年までにSDGsが達成できると考えています。そのために今後は、本校の取り組みを他校にも紹介し(高校生の繋がりを増やし)、地域を支える大きな取り組みとなっていければと考えています。



活動団体プロフィール

私たちは2012年度の東北ボランティア活動から本格的に活動を開始し、現在は17名ほどで活動をおこなっていますが、人数が必要な活動では生徒会執行部や一般の生徒からも参加者も募って活動をしています。活動は東北ボランティア活動とその活動で学んだ「命の大切さ」を他の人に伝える活動や「人と人の繋がりを大切に活動」「人と地域の繋がりを大切に活動」と「防災学習・防災啓発活動」を中心におこなっています。2017年度の東北の活動で岩手県の吉祥寺の高橋ご住職様から「宝物とは他の人を大切に思う心を持って 他の人から大切に思われる生き方」だと教えていただきました。現在は教えていただいた「宝物」を探る活動をしています。